

## 黄河（愛称）

正式名称：中国A株ファンド

設定日：2005年2月28日

信託期間：無期限

決算日：毎年9月21日

分配時期：決算日毎

基準価額：29,171円

純資産総額：20.36億円

## 運用実績

※当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じことがあります。

## &lt;基準価額の推移グラフ&gt;



※分配金込み基準価額は、信託報酬控除後の値です。

※信託報酬は、後述の「手数料等の概要」をご参照下さい。

※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

## &lt;資産構成比率&gt;

株式	96.4%
うち先物	0.0%
現金その他	3.6%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

## &lt;基準価額の騰落率&gt;

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
14.94%	36.09%	21.12%	51.60%	-9.19%	192.99%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

## &lt;基準価額騰落の要因分解&gt;

前月末基準価額	25,379円
株式等要因	4,008円
為替要因	-166円
分配金・その他	-49円
当月末基準価額	29,171円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

## &lt;分配金実績（税引前・1万口当たり）&gt;

設定来合計	2020/9/23	2021/9/21	2022/9/21	2023/9/21	2024/9/24
100円	0円	0円	0円	0円	0円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。  
※2021年4月6日に「深セン市場 中小企業板」が「深セン市場 メインボード」に統合されたため、下記く上場市場別組入比率><組入上位10銘柄>の「上場市場」の項目では「深セン市場 メインボード」で表示しています。

## &lt;通貨別投資比率&gt;

	通貨	比率
1	人民元	85.8%
2	香港ドル	13.6%
3		
4		
5		
6		

## &lt;上場市場別組入比率&gt;

上場市場	比率
深セン市場	35.3%
メインボード	18.5%
創業板	16.8%
上海市場	48.4%
メインボード	36.0%
科創板	12.4%
香港市場	13.5%
その他市場	1.3%

## &lt;組入上位10業種&gt;

	業種	比率
1	テクノロジー・ハードウェア	22.8%
2	資本財	14.3%
3	半導体・半導体製造装置	10.8%
4	銀行	9.7%
5	素材	9.6%
6	医薬品・バイオテクノロジー	6.1%
7	ソフトウェア・サービス	5.8%
8	保険	4.6%
9	耐久消費財・アパレル	4.3%
10	金融サービス	4.1%

※業種分類は当社の分類によるものです。

## &lt;組入上位10銘柄&gt; (銘柄数: 70銘柄)

	銘柄名	通貨	上場市場	業種	比率
1	EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A エオプトリンク・テクノロジー	中国元	深セン市場 創業板	テクノロジー・ハードウェア	3.90%
2	ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A ジョンジ・イノライト	中国元	深セン市場 創業板	テクノロジー・ハードウェア	2.77%
3	CHINA MERCHANTS BANK-A マーチャント・バンク	中国元	上海市場 メインボード	銀行	2.61%
4	SEMICONDUCTOR MANUFACTURING SMIC	香港ドル	香港市場	半導体・半導体製造装置	2.40%
5	YANGTZE OPTICAL FIBRE AND-H ヤンズ・オプティカル・ファイバ・アンド・ケーブル	香港ドル	香港市場	テクノロジー・ハードウェア	2.40%
6	KINGNET NETWORK CO LTD-A キングネット・ネットワーク	中国元	深セン市場 メインボード	メディア・娯楽	2.36%
7	WUXI APPTEC CO LTD-A ウーシー・アプテック	中国元	上海市場 メインボード	医薬品・バイオテクノロジー	2.24%
8	SHENGYI TECHNOLOGY CO LTD -A シェンイ・テクノロジー	中国元	上海市場 メインボード	テクノロジー・ハードウェア	2.21%
9	ZIJIN MINING GROUP CO LTD-A ズージン・マイニング・グループ	中国元	上海市場 メインボード	素材	2.11%
10	PING AN INSURANCE GROUP CO-A ピングアン・インシュアランス	中国元	上海市場 メインボード	保険	2.09%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※2018年10月31日現在よりISINコードで銘柄を統合した表記にしています。

## &lt;規模別構成比率&gt;

時価総額	比率
超大型株（5兆円以上）	31.4%
大型株（1兆円以上5兆円未満）	19.5%
中型株（3,000億円以上1兆円未満）	36.1%
小型株（3,000億円未満）	11.4%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

当月の中国A株市場は、前月末比で上昇しました。

当月は株式市場の上昇に伴い、市場の取引量も増加しました。従来より中国人民銀行（中央銀行）が緩やかな金融政策スタンスを維持する姿勢を示していることは、引き続き市場の成長にとっての支援材料となっています。中旬には、米中両政府が一時停止中の関税措置の停止期間を延長したことなどが好感されたほか、下旬には、中国政府が人民元を裏付けにしたステーブルコイン承認を検討しているとの報道や、中国政府がレアアース（希土類）の規制を一段と厳格化する中、供給がさらに引き締まるとの見方を材料に、関連銘柄が上昇しました。

セクター別では、テクノロジー関連、電子・電気機器などがAI（人工知能）需要の拡大を背景に上昇しました。一方、金融、公益、運輸関連セクターなどは相対的に振るいませんでした。

## ◎運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で上昇しました。

当月は、金融および消費関連銘柄から、第2四半期の業績が良好だったテクノロジー関連銘柄へと一部シフトしました。また、セクター配分に加え、クオリティの高い成長株の銘柄選択に注力することでポートフォリオのリスク分散を図りました。足元では、消費財、電気機器、素材セクターの一部銘柄を選好しています。

## ◎今後の見通し

今後数年間の株式市場の上昇には引き続き期待していますが、短期的に調整が入る可能性には留意が必要とみています。経済のファンダメンタルズの改善、政策支援、豊富な流動性に加え、革新的産業の影響力の拡大が、引き続き市場の成長を牽引すると考えています。

ただし、短期的な株価変動の大きさには注意が必要とみられ、調整リスクはあるものの、中国市場の長期的な見通しは依然として有望とみています。AI、カーボン・ニュートラル、革新的医薬品などの新興産業における継続的なイノベーションと成長、さらに政府による経済改革と発展への取り組みが、多様な投資機会を提供すると期待しています。

中国経済が変革と高度化を続けていく中で、中国株式市場は有望なセクターや企業に資本を供給するという点で、ますます重要な役割を果たすことになると考えています。他方で、中国上場企業の第2四半期の業績は、第1四半期から改善傾向にあり、目立った回復はみられないものの、利益率は底打ちの兆候がみられ、今後数四半期にわたって徐々に改善していくと予想しています。

9月には、当ファンドの変動性を抑えるためにポートフォリオの再構築を検討しています。AI関連銘柄が急伸したことを踏まえ、これらの銘柄の利益確定を一部行い、割安なバリュエーション（株価評価）で出遅れている銘柄へとシフトする可能性があります。第2四半期の業績を踏まえると、カーボン・ニュートラル関連銘柄はバリュエーションが魅力的と考えています。また、市場の調整局面において、消費関連や金融の出遅れ銘柄に対して、逆張り投資を検討しています。ただし、テクノロジー関連銘柄については、AI関連の成長ストーリーがまだ道半ばであり、他のセクターと比べて利益成長率が高いことから、引き続き高めの投資比率を維持する方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



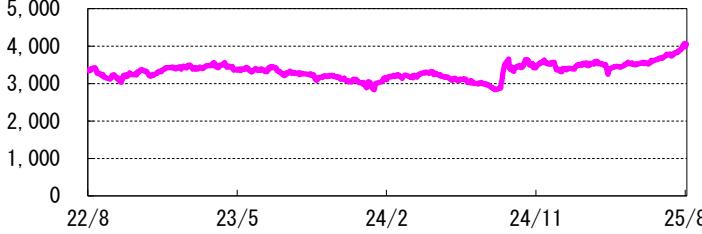
## ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものではありません。  
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

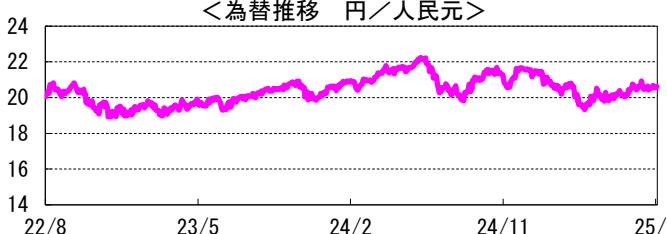
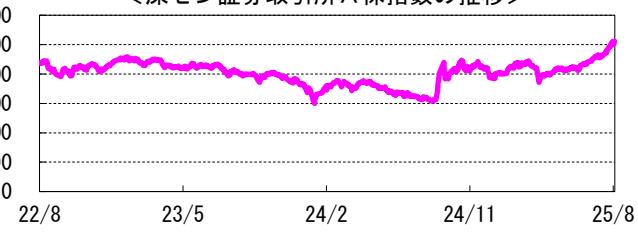
## &lt;組入上位10銘柄の銘柄概要&gt;

<b>1 EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A / エオプトリンク・テクノロジー / 成都新易盛通信技術</b>
光モジュールの研究と開発（R&D）、製造に従事する。同社の光トランシーバーモジュールは、AIやMLクラスタリングおよびクラウド・データセンターに使用される。今後のAI普及が成長ドライバーに。
<b>2 ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A / ジョンジ・イノライト / 中際旭創</b>
光通信モジュールを主力とする民営企業。中国のデータセンターでは政策支援で需要が急増しており、AIテーマの一環としても市場の注目が高まる。
<b>3 CHINA MERCHANTS BANK-A / マーチャント・バンク / 招商銀行</b>
リテールバンキングを強みとする商業銀行。後発ながらウェルスマネジメント等で高い収益性を保ち、時価総額では大手国有銀行に匹敵する規模に成長している。
<b>4 SEMICONDUCTOR MANUFACTURING / SMIC / 中芯国際集成電路製造</b>
中国最大の半導体生産受託会社であり、国内外の企業を顧客とする。半導体の国内生産化を目指す政府の成長戦略の中核的な企業として、中長期的な技術力の向上と収益成長が見込まれる。
<b>5 YANGTZE OPTICAL FIBRE AND-H / ヤンズ・オプティカル・ファイバ・アンド・ケーブル / 長飛光纖光纜股分有限公司</b>
光ファイバー・ケーブルの世界最大手の一社であり、AIデータセンターの増加が今後の成長ドライバーに。その中で、高付加価値製品へのシフトも同時に進めつつ、収益源の多様化も図っており、一段の利益成長と安定化に期待。
<b>6 KINGNET NETWORK CO LTD-A / キングネット・ネットワーク / 優英網絡</b>
中堅ゲーム会社。インターネットゲームの開発やプラットフォームの運営を手掛け、最近はVRゲームにも進出。内部管理の問題で一時業績が低迷していたが、体制を一新してからは業績拡大中。
<b>7 WUXI APPTEC CO LTD-A / ウーシー・アプテック / 無錫薬明康德新薬開発</b>
創薬・研究開発・製造を一貫して請け負う新薬受託会社で、中国最大手。世界的な大手メーカーからバイオ医薬品メーカー、創薬ベンチャーまで多様な顧客にサービスを提供する。
<b>8 SHENGYI TECHNOLOGY CO LTD-A / シエンイ・テクノロジー / 広東生益科技</b>
プリント基板（PCB）メーカー。パソコン、携帯電話機、自動車用電子部品などの使われるプリント配線板用銅張積層版や絶縁ラミネートシートなどを手掛ける。
<b>9 ZIJIN MINING GROUP CO LTD-A / ズージン・マイニング・グループ / 紫金鉱業集團</b>
金や銅・亜鉛を中心に各種鉱物資源の採掘・精錬・販売を手掛ける。中国最大規模の金鉱山である紫金山鉱山などのはか、海外でも鉱山に出資している。
<b>10 PING AN INSURANCE GROUP CO-A / ピンアン・インシュアランス / 中国平安保險</b>
中国の大手保険会社。また、不動産保険、損害保険も手掛ける。銀行、フィンテックへも参入。

&lt;上海証券取引所A株指数の推移&gt;



&lt;深セン証券取引所A株指数の推移&gt;



(出所：各種資料を基にアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色

**1**

主に、QFII制度を利用して、中華人民共和国(以下、中国)企業の人民元建株式(中国A株)に直接投資を行ないます。

2002年12月のQFII制度<sup>\*1</sup>施行を受け、中国証券監督管理委員会(CSRC)から認定を受けた国外の機関投資家は、中国企業の人民元建証券への投資が可能になりました。日興アセットマネジメント株式会社<sup>\*2</sup>は、2003年12月にQFIIの資格を取得したことにより、人民元建証券に直接投資を行なう投資信託を設定・運用しています。

QFII制度を利用して、中国企業の人民元建株式(中国A株)に直接投資ができる世界初<sup>\*3</sup>の追加型投信です。

\*1 : QFII (Qualified Foreign Institutional Investors:適格国外機関投資家)制度とは、一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについてCSRCの認定を受けた国外の機関投資家に対して、中国証券市場への投資を認める制度です。

\*2 : 以下、日興アセットマネジメントと記します。

\*3 : 中国国内で設定された投資信託は除きます。(日興アセットマネジメント調べ)

**2**

上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資します。

主に、「中国A株マザーファンド」を通じて、上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資を行うことにより、中国経済の成長を積極的に捉えます。

**3**

日興アセットマネジメント アジア リミテッド\*が運用を行ないます。

\*2025年9月1日、日興アセットマネジメント アジア リミテッドは「アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド」に社名変更します。

中国A株への投資に豊富な実績を有する、日興アセットマネジメント アジア リミテッドが、マザーファンドの運用を行ないます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」へ社名変更しました。「ファンドの特色」は投資信託説明書(交付目論見書)作成時点の情報です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

**■お申込みメモ**

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2005年2月28日設定）
決算日	毎年9月21日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上海証券取引所の休業日</li> <li>・深セン証券取引所の休業日</li> <li>・中国の銀行休業日</li> <li>・購入・換金の申込受付日から起算して7営業日目までの期間中に、上海証券取引所の休業日、深セン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日が2日以上ある場合</li> </ul>
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

**■手数料等の概要**

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.3%</u>
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率2.31%（税抜2.1%）</u>
その他の費用・手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 ※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**■委託会社、その他関係法人**

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a> [コールセンター] 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

### ○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。  
主なリスクは以下の通りです。

### 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

### 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないと、流動性リスクが高まる場合があります。

### 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

### 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

### カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（C S R C）および国家外貨管理局（S A F E）の裁量によって行なわれます。海外からの投資規制や海外への送金規制など種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、ファンドにおいて換金代金等の支払いが遅延したり、投資対象市場に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、Q F I I 制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

当資料は、投資者の皆様に「中国A株ファンド（愛称：黄河）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるとき、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号	○		○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社SMB C信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入	登録金融機関 関東財務局長（登金）第653号	○	○		○
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SB I証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SB I新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SB I証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第6号	○		○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。